

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2024年6月14日まで（2014年8月18日設定）	
運用方針	<p>アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、各マザーファンド受益証券への投資割合は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>アセアン通貨の中で複数の通貨（以下「対象通貨」といいます。）に分散投資を行い、各対象通貨の配分は概ね均等とすることを基本とします。なお、アセアン諸国の投資環境等に応じて、対象通貨の見直しまたは通貨の配分を変更することがあります。</p> <p>運用にあたっては、実質組入米ドル建て資産に対して、原則として米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。（このため、基準価額はすべての対象通貨の対円で為替変動の影響を受けます。）</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	アセアン投資適格社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アセアン社債ファンド （毎月決算型）



第77期（決算日：2021年1月15日）
 第78期（決算日：2021年2月15日）
 第79期（決算日：2021年3月15日）
 第80期（決算日：2021年4月15日）
 第81期（決算日：2021年5月17日）
 第82期（決算日：2021年6月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アセアン社債ファンド（毎月決算型）」は、去る6月15日に第82期の決算を行いましたので、法令に基づいて第77期～第82期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		円	円	騰 落 率			
53期(2019年1月15日)	9,595	25	△ 1.0	91.1	—	678	
54期(2019年2月15日)	9,973	25	4.2	90.6	—	706	
55期(2019年3月15日)	10,154	25	2.1	91.7	—	715	
56期(2019年4月15日)	10,292	25	1.6	89.4	—	703	
57期(2019年5月15日)	9,993	25	△ 2.7	92.2	—	670	
58期(2019年6月17日)	10,114	25	1.5	91.2	—	670	
59期(2019年7月16日)	10,321	25	2.3	91.5	—	675	
60期(2019年8月15日)	10,031	25	△ 2.6	92.4	—	655	
61期(2019年9月17日)	10,335	25	3.3	90.3	—	673	
62期(2019年10月15日)	10,445	25	1.3	88.6	—	664	
63期(2019年11月15日)	10,557	25	1.3	88.0	—	668	
64期(2019年12月16日)	10,678	25	1.4	89.1	—	669	
65期(2020年1月15日)	10,857	25	1.9	88.2	—	671	
66期(2020年2月17日)	10,747	25	△ 0.8	90.2	—	661	
67期(2020年3月16日)	9,601	25	△ 10.4	92.3	—	586	
68期(2020年4月15日)	8,897	25	△ 7.1	87.5	—	540	
69期(2020年5月15日)	9,260	25	4.4	88.8	—	557	
70期(2020年6月15日)	9,950	25	7.7	88.8	—	597	
71期(2020年7月15日)	9,973	25	0.5	91.1	—	585	
72期(2020年8月17日)	10,255	25	3.1	88.9	—	601	
73期(2020年9月15日)	10,165	25	△ 0.6	89.3	—	592	
74期(2020年10月15日)	10,198	25	0.6	90.9	—	578	
75期(2020年11月16日)	10,364	25	1.9	89.8	—	571	
76期(2020年12月15日)	10,546	25	2.0	89.6	—	560	
77期(2021年1月15日)	10,441	25	△ 0.8	90.6	—	546	
78期(2021年2月15日)	10,657	25	2.3	90.5	—	558	
79期(2021年3月15日)	10,691	25	0.6	90.8	—	553	
80期(2021年4月15日)	10,562	25	△ 1.0	90.3	—	538	
81期(2021年5月17日)	10,707	25	1.6	92.3	—	544	
82期(2021年6月15日)	10,908	25	2.1	88.8	—	547	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第77期	(期 首) 2020年12月15日	10,546		—	89.6		—
	12月末	10,520		△0.2	90.0		—
	(期 末) 2021年1月15日	10,466		△0.8	90.6		—
第78期	(期 首) 2021年1月15日	10,441		—	90.6		—
	1月末	10,560		1.1	92.0		—
	(期 末) 2021年2月15日	10,682		2.3	90.5		—
第79期	(期 首) 2021年2月15日	10,657		—	90.5		—
	2月末	10,595		△0.6	90.8		—
	(期 末) 2021年3月15日	10,716		0.6	90.8		—
第80期	(期 首) 2021年3月15日	10,691		—	90.8		—
	3月末	10,690		△0.0	90.2		—
	(期 末) 2021年4月15日	10,587		△1.0	90.3		—
第81期	(期 首) 2021年4月15日	10,562		—	90.3		—
	4月末	10,673		1.1	90.8		—
	(期 末) 2021年5月17日	10,732		1.6	92.3		—
第82期	(期 首) 2021年5月17日	10,707		—	92.3		—
	5月末	10,821		1.1	89.9		—
	(期 末) 2021年6月15日	10,933		2.1	88.8		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

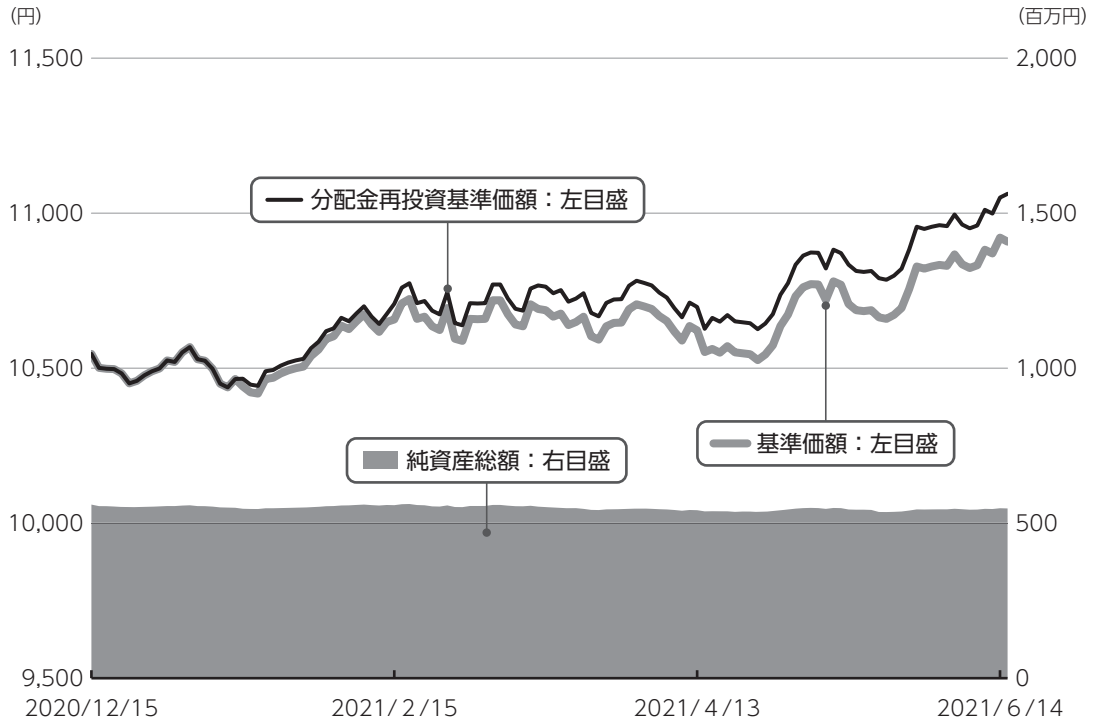
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第77期～第82期：2020年12月16日～2021年6月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第77期首	10,546円
第82期末	10,908円
既払分配金	150円
騰落率	4.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

債券利子収入を享受したことや、対象通貨（アセアン通貨の中の複数の通貨（以下「対象通貨」））（インドネシアルピア、マレーシアリングgit、フィリピンペソ、シンガポールドル、タイバーツ）が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
アセアン投資適格社債マザーファンド	5.2%	48.2%
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	7.0%	47.9%

第77期～第82期：2020年12月16日～2021年6月15日

投資環境について

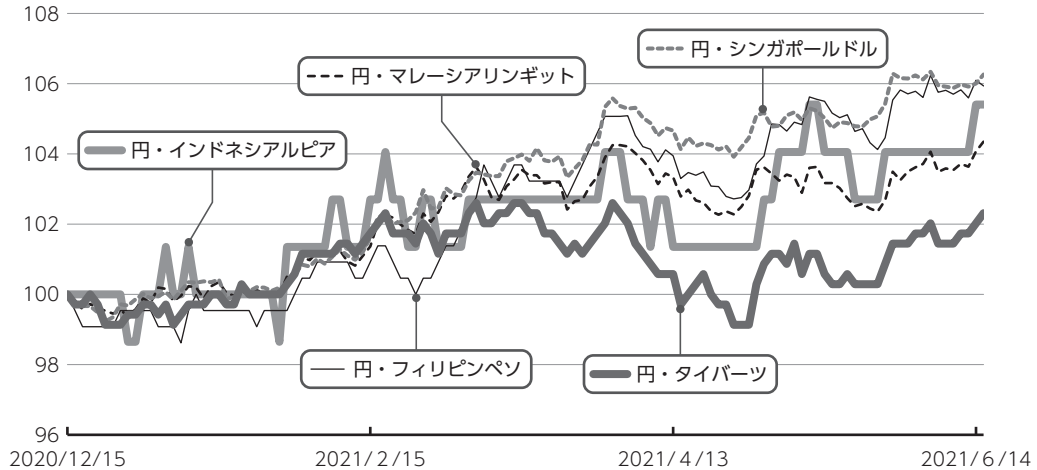
▶ 社債市況

アセアン投資適格社債市況は、社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したものの、米国金利が上昇したことなどから下落し、アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が上昇したものの、債券利子収入を享受したことなどから上昇しました。

米国では、大統領選におけるバイデン氏の勝利とバイデン政権による大規模な追加経済対策、新型コロナウイルスのワクチン普及、世界的な商品価格上昇などを受けて、米国金利は上昇しました。

社債のスプレッドは、新型コロナウイルスのワクチン普及、予想を上回る米企業の好決算などを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから縮小しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

アセアン各国通貨は対円で上昇しました。

米国の追加経済対策による景気回復期待の高まりや、世界的な新型コロナウイルスのワクチン普及などを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、インドネシアルピア、マレーシアリングgit、フィリピンペソ、シンガポールドル、タイバーツは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンドおよびアセアン・ハイイールド社債マザーファンドにそれぞれ純資産総額の50%程度の投資を維持しました。

また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引（NDF）等を行い、各対象通貨の配分は概ね均等を維持しました。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では作成期初には業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへ多めに配分し、作成中にインドネシアの繊維銘柄を売却し、インドネシアの石炭銘柄を積み増すなど、事業環境や商品市況を勘案しながら機動的にポートフォリオの調整を実施しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第77期 2020年12月16日～ 2021年1月15日	第78期 2021年1月16日～ 2021年2月15日	第79期 2021年2月16日～ 2021年3月15日	第80期 2021年3月16日～ 2021年4月15日	第81期 2021年4月16日～ 2021年5月17日	第82期 2021年5月18日～ 2021年6月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 (0.239%)	25 (0.234%)	25 (0.233%)	25 (0.236%)	25 (0.233%)	25 (0.229%)
当期の収益	23	25	25	25	25	25
当期の収益以外	1	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,350	1,362	1,367	1,367	1,381	1,391

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるＢＢＢ格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるＢＢ格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

2020年12月16日～2021年6月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	90	0.845	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(44)	(0.411)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.017	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	92	0.862	

作成期中の平均基準価額は、10,634円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

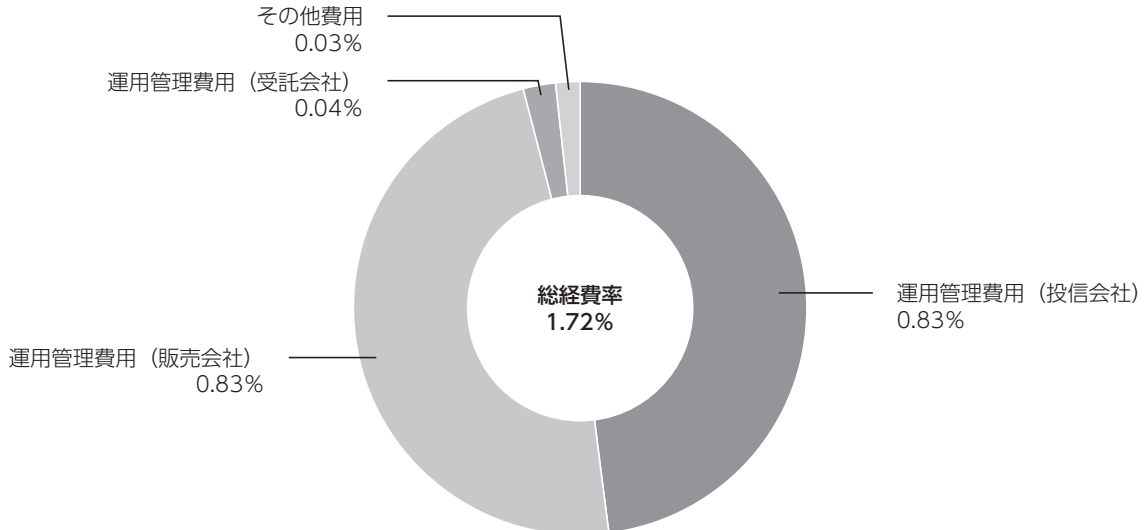
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.72%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月16日～2021年6月15日)

スワップ及び先渡取引状況

種 類	第77期～第82期	
	取 引	契 約 金 額
直物為替先渡取引		百万円 1,075

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第77期～第82期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アセアン投資適格社債マザーファンド	—	—	8,087	12,000
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	—	—	18,277	28,000

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月16日～2021年6月15日)

利害関係人との取引状況

<アセアン社債ファンド（毎月決算型）>

区 分	第77期～第82期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,284	215	16.7	1,280	216	16.9
為替直物取引	6	3	50.0	10	7	70.0

<アセアン投資適格社債マザーファンド>

区 分	第77期～第82期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	—	—	—	5	5	100.0

平均保有割合 30.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<アセアン・ハイイールド社債マザーファンド>

区 分	第77期～第82期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 47	百万円 10	% 21.3

平均保有割合 29.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年12月16日～2021年6月15日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2021年6月15日現在)

スワップ及び先渡取引残高

種 類	取 引 契 約 残 高	
	第82期末想定元本額	
直物為替先渡取引	百万円 313	

親投資信託残高

銘 柄	第76期末		第82期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アセアン投資適格社債マザーファンド	千口 180,216	千口 172,128	千口 172,128	千円 263,718
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	185,862	167,585	167,585	262,136

○投資信託財産の構成

(2021年6月15日現在)

項 目	第82期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセアン投資適格社債マザーファンド	263,718	47.7
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	262,136	47.4
コール・ローン等、その他	27,118	4.9
投資信託財産総額	552,972	100.0

- (注) アセアン投資適格社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（880,977千円）の投資信託財産総額（896,124千円）に対する比率は98.3%です。
- (注) アセアン・ハイイールド社債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（886,541千円）の投資信託財産総額（899,998千円）に対する比率は98.5%です。
- (注) 作成期末における外貨建純資産（8,468千円）の投資信託財産総額（552,972千円）に対する比率は1.5%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.11円			
------------------	--	--	--

○特定資産の価格等の調査

(2020年12月16日～2021年6月15日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	21

当作成期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
	2021年1月15日現在	2021年2月15日現在	2021年3月15日現在	2021年4月15日現在	2021年5月17日現在	2021年6月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	984,194,667	986,917,749	992,932,533	973,150,824	960,391,595	968,404,066
コール・ローン等	21,177,799	18,743,961	23,642,272	22,534,080	19,802,057	18,000,680
アセアン投資資格社債マザーファンド(評価額)	259,548,431	264,450,331	267,261,716	264,121,290	261,414,236	263,718,764
アセアン・ハイールド社債マザーファンド(評価額)	269,017,014	275,726,641	274,850,412	261,390,211	262,911,784	262,136,610
未収入金	434,451,423	427,996,816	427,178,133	425,105,243	416,263,518	424,548,012
(B) 負債	437,678,357	428,818,421	439,598,320	434,548,259	416,196,969	420,834,972
未払金	431,531,482	425,510,403	433,488,124	432,222,698	412,783,268	418,831,508
未払収益分配金	1,308,541	1,309,195	1,293,893	1,274,836	1,270,629	1,255,019
未払解約金	4,039,071	1,201,009	4,091,398	263,865	1,334,820	15,574
未払信託報酬	797,096	795,651	722,935	784,729	806,055	730,890
未払利息	3	2	6	2	4	2
その他未払費用	2,164	2,161	1,964	2,129	2,193	1,979
(C) 純資産総額(A-B)	546,516,310	558,099,328	553,334,213	538,602,565	544,194,626	547,569,094
元本	523,416,410	523,678,084	517,557,275	509,934,405	508,251,742	502,007,715
次期繰越損益金	23,099,900	34,421,244	35,776,938	28,668,160	35,942,884	45,561,379
(D) 受益権総口数	523,416,410口	523,678,084口	517,557,275口	509,934,405口	508,251,742口	502,007,715口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,441円	10,657円	10,691円	10,562円	10,707円	10,908円

○損益の状況

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日	2021年3月16日～ 2021年4月15日	2021年4月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年6月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 154	△ 70	△ 63	△ 98	△ 86	△ 163
受取利息	4	1	—	—	—	—
支払利息	△ 158	△ 71	△ 63	△ 98	△ 86	△ 163
(B) 有価証券売買損益	△ 4,521,860	12,185,503	9,565,664	△ 3,443,597	5,121,791	10,447,299
売買益	5,607,985	15,808,486	24,505,232	2,765,292	12,854,072	13,745,977
売買損	△10,129,845	△ 3,622,983	△14,939,568	△ 6,208,889	△ 7,732,281	△ 3,298,678
(C) 先物取引等取引損益	1,141,626	1,209,086	△ 5,788,890	△ 1,073,825	4,322,178	1,603,757
取引益	1,529,321	1,435,980	624,271	840,195	4,878,999	1,888,711
取引損	△ 387,695	△ 226,894	△ 6,413,161	△ 1,914,020	△ 556,821	△ 284,954
(D) 信託報酬等	△ 800,815	△ 799,402	△ 724,899	△ 788,527	△ 811,540	△ 739,544
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 4,181,203	12,595,117	3,051,812	△ 5,306,047	8,632,343	11,311,349
(F) 前期繰越損益金	3,036,937	△ 2,446,388	8,724,453	10,312,178	3,704,164	10,911,201
(G) 追加信託差損益金	25,552,707	25,581,710	25,294,566	24,936,865	24,877,006	24,593,848
(配当等相当額)	(49,163,769)	(49,256,940)	(48,713,977)	(48,030,961)	(47,960,301)	(47,412,742)
(売買損益相当額)	(△23,611,062)	(△23,675,230)	(△23,419,411)	(△23,094,096)	(△23,083,295)	(△22,818,894)
(H) 計(E+F+G)	24,408,441	35,730,439	37,070,831	29,942,996	37,213,513	46,816,398
(I) 収益分配金	△ 1,308,541	△ 1,309,195	△ 1,293,893	△ 1,274,836	△ 1,270,629	△ 1,255,019
次期繰越損益金(H+I)	23,099,900	34,421,244	35,776,938	28,668,160	35,942,884	45,561,379
追加信託差損益金	25,552,707	25,581,710	25,294,566	24,936,865	24,877,006	24,593,848
(配当等相当額)	(49,165,211)	(49,260,303)	(48,715,203)	(48,032,565)	(47,964,378)	(47,414,375)
(売買損益相当額)	(△23,612,504)	(△23,678,593)	(△23,420,637)	(△23,095,700)	(△23,087,372)	(△22,820,527)
分配準備積立金	21,545,589	22,109,311	22,070,043	21,712,978	22,226,664	22,446,232
繰越損益金	△23,998,396	△13,269,777	△11,587,671	△17,981,683	△11,160,786	△ 1,478,701

(注) (B) 有価証券売買損益および(C) 先物取引等取引損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 531,036,941円
 作成期中追加設定元本額 6,779,798円
 作成期中一部解約元本額 35,809,024円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0908円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日	2021年3月16日～ 2021年4月15日	2021年4月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年6月15日
費用控除後の配当等収益額	1,253,022円	1,929,298円	1,542,461円	1,276,109円	1,942,193円	1,785,270円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	49,165,211円	49,260,303円	48,715,203円	48,032,565円	47,964,378円	47,414,375円
分配準備積立金額	21,601,108円	21,489,208円	21,821,475円	21,711,705円	21,555,100円	21,915,981円
当ファンドの分配対象収益額	72,019,341円	72,678,809円	72,079,139円	71,020,379円	71,461,671円	71,115,626円
1万口当たり収益分配対象額	1,375円	1,387円	1,392円	1,392円	1,406円	1,416円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	1,308,541円	1,309,195円	1,293,893円	1,274,836円	1,270,629円	1,255,019円

○分配金のお知らせ

	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

アセアン投資適格社債マザーファンド

《第14期》決算日2021年6月15日

[計算期間：2020年12月16日～2021年6月15日]

「アセアン投資適格社債マザーファンド」は、6月15日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりBBB一格相当以上の格付けを付与されているものに限り、もしくはデュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
10期(2019年6月17日)	円	%	%	%	百万円
10期(2019年6月17日)	13,503	4.4	95.5	—	914
11期(2019年12月16日)	14,256	5.6	90.1	—	930
12期(2020年6月15日)	14,181	△0.5	96.0	—	853
13期(2020年12月15日)	14,560	2.7	96.7	—	855
14期(2021年6月15日)	15,321	5.2	95.3	—	896

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2020年12月15日	円 14,560	—	96.7	% —
12月末	14,490	△0.5	96.6	—
2021年1月末	14,616	0.4	96.3	—
2月末	14,630	0.5	95.6	—
3月末	15,082	3.6	95.2	—
4月末	14,952	2.7	95.4	—
5月末	15,149	4.0	95.4	—
(期 末) 2021年6月15日	15,321	5.2	95.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことや、米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎アセアン投資適格社債市況

- ・アセアン投資適格社債市況は、社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したものの、米国金利が上昇したことなどから下落しました。
- ・米国では、大統領選におけるバイデン氏の勝利とバイデン政権による大規模な追加経済対策、新型コロナウイルスのワクチン普及、世界的な商品価格上昇などを受けて、米国金利は上昇しました。

- ・社債のスプレッドは、新型コロナウイルスのワクチン普及、予想を上回る米企業の好決算などを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから縮小しました。

◎為替市況

- ・米ドルは対円で上昇しました。米国の追加経済対策による景気回復期待の高まりなどを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことや、米国金利が上昇したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。
- ・当期においては、債券格付別では、BBB格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

○今後の運用方針

- ・運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年12月16日～2021年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.011 (0.011)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、14,799円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月16日～2021年6月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 198	千アメリカドル 203

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月16日～2021年6月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 5	百万円 5	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2021年6月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,050	7,755	854,003	95.3	—	55.5	28.5	11.3
合 計	7,050	7,755	854,003	95.3	—	55.5	28.5	11.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末				償還年月日
			額面金額	評価額		千円	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル			
特殊債券	2.48 EXPT-IMPT BA 211020	2.48	200	201	22,172	2021/10/20	
	3.875 INDONESIA E 240406	3.875	300	322	35,469	2024/4/6	
普通社債券	2.25 PSA TREASURY 300430	2.25	200	204	22,557	2030/4/30	
	2.503 RHB BANK 211006	2.503	200	201	22,150	2021/10/6	
	2.95 BDO UNIBANK 230306	2.95	300	311	34,271	2023/3/6	
	2.98 GC TREASURY 310318	2.98	200	203	22,409	2031/3/18	
	3.25 BOC AVIATION 250429	3.25	200	211	23,333	2025/4/29	
	3.375 TEMASEK FIN 420723	3.375	250	280	30,843	2042/7/23	
	3.5 THAI OIL TRSRY 491017	3.5	300	269	29,715	2049/10/17	
	4.25 GC TREASURY 220919	4.25	200	208	22,914	2022/9/19	
	4.25 OVERSEA-CHIN 240619	4.25	200	218	24,075	2024/6/19	
	4.25 PT PELABUHAN 250505	4.25	400	438	48,283	2025/5/5	
	4.4 SIAM COMMERC 290211	4.4	200	230	25,380	2029/2/11	
	4.5 PETRONAS CAPI 450318	4.5	200	245	26,997	2045/3/18	
	4.625 BANK RAKYAT 230720	4.625	200	214	23,634	2023/7/20	
	4.625 MINEJESA CA 300810	4.625	200	209	23,035	2030/8/10	
	4.875 PELABUHAN 241001	4.875	200	221	24,345	2024/10/1	
	4.875 THAI OIL TRS 430123	4.875	200	219	24,142	2043/1/23	
	5.125 PERUSAHAAN 240516	5.125	400	444	48,993	2024/5/16	
	5.375 PERUSAHAAN 290125	5.375	200	233	25,734	2029/1/25	
	5.45 INDONESIA AS 300515	5.45	200	233	25,739	2030/5/15	
	6 PERTAMINA PERSE 420503	6.0	200	244	26,912	2042/5/3	
	6.15 PERUSAHAAN 480521	6.15	200	250	27,593	2048/5/21	
	6.35 PTTEP CANADA 420612	6.35	200	275	30,358	2042/6/12	
	6.5 PERTAMINA PT 410527	6.5	200	258	28,445	2041/5/27	
	7.39 POWER SECTOR 241202	7.39	200	244	26,975	2024/12/2	
	7.625 PETROLIAM N 261015	7.625	100	131	14,489	2026/10/15	
	FRN BANGKOK BANK 340925	3.733	200	207	22,820	2034/9/25	
	FRN DBS GROUP HOL 281211	4.52	200	216	23,842	2028/12/11	
	FRN UNITED OVERSE 310316	1.75	400	399	44,041	2031/3/16	
	VAR MALAYAN BANKI 261029	3.905	200	202	22,326	2026/10/29	
合	計				854,003		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 854,003	% 95.3
コール・ローン等、その他	42,121	4.7
投資信託財産総額	896,124	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(880,977千円)の投資信託財産総額(896,124千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.11円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	896,124,178
コール・ローン等	35,216,350
公社債(評価額)	854,003,405
未収利息	6,902,600
前払費用	1,823
(B) 負債	2
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	896,124,176
元本	584,891,269
次期繰越損益金	311,232,907
(D) 受益権総口数	584,891,269口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,321円

<注記事項>

①期首元本額 587,303,986円
 期中追加設定元本額 5,675,269円
 期中一部解約元本額 8,087,986円
 また、1口当たり純資産額は、期末15,321円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 MUAM アセアン社債ファンド 412,762,319円
 アセアン社債ファンド(毎月決算型) 172,128,950円
 合計 584,891,269円

○損益の状況 (2020年12月16日～2021年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,629,634
受取利息	16,630,393
支払利息	△ 759
(B) 有価証券売買損益	28,143,389
売買益	49,407,146
売買損	△ 21,263,757
(C) 保管費用等	△ 97,328
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,675,695
(E) 前期繰越損益金	267,784,754
(F) 追加信託差損益金	2,684,472
(G) 解約差損益金	△ 3,912,014
(H) 計(D+E+F+G)	311,232,907
次期繰越損益金(H)	311,232,907

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

《第14期》決算日2021年6月15日

[計算期間：2020年12月16日～2021年6月15日]

「アセアン・ハイイールド社債マザーファンド」は、6月15日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、市況動向などに応じて、一部、米国国債やアセアン諸国の現地通貨建ての公社債等に投資する場合があります。投資する債券は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは委託者の格付基準によりB-格相当以上の格付けを付与されているものに限ります。 デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
10期(2019年6月17日)	13,944	3.9	94.6	—	905
11期(2019年12月16日)	14,597	4.7	94.9	—	928
12期(2020年6月15日)	13,842	△5.2	93.3	—	877
13期(2020年12月15日)	14,614	5.6	91.3	—	885
14期(2021年6月15日)	15,642	7.0	89.7	—	898

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2020年12月15日	円 14,614	—	% 91.3	% —
12月末	14,579	△0.2	91.2	—
2021年1月末	14,668	0.4	93.5	—
2月末	15,082	3.2	89.0	—
3月末	15,432	5.6	90.1	—
4月末	15,321	4.8	94.2	—
5月末	15,566	6.5	92.2	—
(期 末) 2021年6月15日	15,642	7.0	89.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変化要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことや、米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎アセアンハイイールド社債市況

- ・アセアンハイイールド社債市況は、米国金利が上昇したものの、債券利子収入を享受したことなどから上昇しました。
- ・米国では、大統領選におけるバイデン氏の勝利とバイデン政権による大規模な追加経済対策、新型コロナウイルスのワクチン普及、世界的な商品価格上昇などを受けて、米国金利は上昇しました。

- ・社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は、新型コロナウイルスのワクチン普及、予想を上回る米企業の好決算などを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから縮小しました。

◎為替市況

- ・米ドルは対円で上昇しました。米国の追加経済対策による景気回復期待の高まりなどを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことや、米国金利が上昇したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。
- ・当期においては、債券格付別では、BB格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では期初には業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへ多めに配分し、期中にインドネシアの繊維銘柄を売却し、インドネシアの石炭銘柄を積み増すなど、事業環境や商品市況を勘案しながら機動的にポートフォリオの調整を実施しました。

○今後の運用方針

- ・運用にあたっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年12月16日～2021年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.013 (0.013)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.013	
期中の平均基準価額は、15,097円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月16日～2021年6月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル 1,259	千アメリカドル 985 (605)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月16日～2021年6月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 47	百万円 10	% 21.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2021年6月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,050	7,319	806,000	89.7	79.5	44.6	34.9	10.2
合 計	7,050	7,319	806,000	89.7	79.5	44.6	34.9	10.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
普通社債券						
4.25 MEGAWORLD CO 230417	4.25	200	211	23,288	2023/4/17	
4.25 PT ADARO IND 241031	4.25	250	259	28,601	2024/10/31	
4.375 JGSH PHILIP 230123	4.375	200	210	23,187	2023/1/23	
4.5 FPC TREASURY 230416	4.5	200	210	23,147	2023/4/16	
4.75 INTERNATIONAL 300617	4.75	200	223	24,652	2030/6/17	
4.875 PT PAKUWON 280429	4.875	200	207	22,866	2028/4/29	
4.95 CHANDRA ASRI 241108	4.95	200	204	22,555	2024/11/8	
4.95 CIKARANG 260914	4.95	200	206	22,738	2026/9/14	
5.125 AYC FINANCE 660313	5.125	200	207	22,850	2166/3/13	
5.5 GLOBAL PRIME 231018	5.5	400	409	45,090	2023/10/18	
6.375 MEDCO BELL 270130	6.375	200	206	22,779	2027/1/30	
6.5 JABABEKA INTE 231005	6.5	200	195	21,477	2023/10/5	
6.75 MEDCO PLATIN 250130	6.75	400	422	46,466	2025/1/30	
6.75 THETA CAPITA 261031	6.75	200	200	22,022	2026/10/31	
7.25 VLL INTERNAT 270720	7.25	700	740	81,501	2027/7/20	
7.75 BUKIT MAKMUR 260210	7.75	400	413	45,561	2026/2/10	
7.95 NAGACORP LTD 240706	7.95	200	207	22,812	2024/7/6	
8.25 INDIKA ENERG 251022	8.25	500	533	58,729	2025/10/22	
8.5 GOLDEN ENERGY 260514	8.5	200	202	22,298	2026/5/14	
FRN SMC GLOBAL PO 670725	6.5	400	412	45,418	2167/7/25	
FRN SMC GLOBAL PO 690421	7.0	200	212	23,419	2169/4/21	
VAR OLAM INTERNAT 491229	5.35	200	200	22,024	2021/7/20	
VAR PARKWAY PANTA 660127	4.25	200	204	22,489	2166/1/27	
VAR PETRON CORP 660719	4.6	400	399	44,038	2166/7/19	
VAR ROYAL CAPITAL 491229	4.875	400	417	45,981	2049/12/29	
合 計				806,000		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 806,000	% 89.6
コール・ローン等、その他	93,998	10.4
投資信託財産総額	899,998	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (886,541千円) の投資信託財産総額 (899,998千円) に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.11円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	899,998,514
コール・ローン等	81,813,688
公社債(評価額)	806,000,355
未収利息	11,886,287
前払費用	298,184
(B) 負債	1,182,558
未払解約金	1,182,556
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	898,815,956
元本	574,599,101
次期繰越損益金	324,216,855
(D) 受益権総口数	574,599,101口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,642円

<注記事項>

- ①期首元本額 606,031,051円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 31,431,950円
また、1口当たり純資産額は、期末15,642円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUAM アセアン社債ファンド	407,014,003円
アセアン社債ファンド(毎月決算型)	167,585,098円
合計	574,599,101円

○損益の状況 (2020年12月16日～2021年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,693,157
受取利息	24,693,781
支払利息	△ 624
(B) 有価証券売買損益	36,443,726
売買益	63,788,138
売買損	△ 27,344,412
(C) 保管費用等	△ 118,594
(D) 当期損益金(A+B+C)	61,018,289
(E) 前期繰越損益金	279,644,889
(F) 解約差損益金	△ 16,446,323
(G) 計(D+E+F)	324,216,855
次期繰越損益金(G)	324,216,855

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。